

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成		
施策	① 体験活動等の充実及び学校・家庭・地域の相互の連携・協力			
(施策の小項目)	○地域特性を学ぶ取組			
主な取組	観光教育の推進	実施計画 記載頁	375	
対応する 主な課題	○沖縄の子どもたちが豊かな心を形成し、生きる知恵、社会性、生まれ育った地域に誇りを持つ人格を形成していくためには、幼い頃から地域活動や体験活動を通して、より多くの人々と触れあうとともに、沖縄の自然、文化をはじめ、国内外の優れた芸術文化に触れる機会等の一層の充実を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	次世代を担う子供たちが観光の重要性について理解を深めることを目的として、県と一般財団法人沖縄県観光コンベンションビューロー(OCVB)で「沖縄県 めんそーれ沖縄(うちなー)観光学習教材」を作成し、県内小学校4年生に配布を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
			次世代を担う児童生徒に対し、観光産業への理解を深める観光教育を実施			→	県 OCVB
担当部課	文化観光スポーツ部 観光振興課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
観光産業魅力創出事業	5,700	5,700	観光学習教材を17,500冊作成し、県内小学校4年生に配布を行った。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
観光産業等と連携し、観光教育を実施			—	観光学習教材の配布 17,500冊
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	観光学習教材を17,500冊作成し、県内小学校4年生に配布を行った。また、観光教育に取り組む学校等に対し、(一財)沖縄観光コンベンションビューローにおいて出前講座等の支援を行った。出前講座は、61回実施され、延べ6,039名が参加し、観光教育の推進が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
観光産業魅力創出事業	2,376	観光学習教材を作成し、県内小学校4年生に配布を行う。	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①継続して関係機関等と連携を行い、観光教育の推進に取組み、学校等関係機関に対し、観光学習教材の活用、出前講座等の周知を行う。	①関係機関等と連携して観光教育の推進に取り組んだ。 ②観光学習教材を(一財)沖縄観光コンベンションビューローのホームページに掲載・情報発信を行い、活用・普及を図った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	観光学習教材の配布や出前講座等支援を実施することで、子どもたちに観光客をあたたかく迎える「おもてなしの心」や観光産業の重要性と魅力について理解を図った。引き続き、次世代を担う児童・生徒に対し、観光教育を推進する。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <p>・観光教育については定量的評価が難しく、効果が示しにくい。次世代の子どもたちに沖縄県のリーディング産業である観光産業の重要性については理解を広める必要性がある。</p> <p>○外部環境の変化</p> <p>・平成28年度の入域観光客数は約877万人と、平成27年度に比べ、約83万人の増加となり、4年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新している。</p>
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>・継続して関係機関等と連携して観光教育の推進を図ることが必要。</p> <p>・観光学習教材の活用についての普及を図る。</p>

4 取組の改善案(Action)

<p>・継続して関係機関等との連携を行い、観光教育の推進に取組み、学校等関係機関に対し、観光学習教材の活用、出前講座等の周知を行う。</p>
--